

布哇教育會編纂

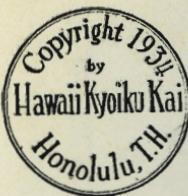
修身書參考

中等科用 卷一

布哇教育會編纂

修身書參考

中等科用 卷一



緒 言

一、本書は本會編纂の「修身書・中等科用」の教授参考書として編纂したものであつて、その内容は「訓話要綱」・「教授上の注意」・「生徒用書解説」・「参考資料」の四項に分ち、「参考資料」は更に之を「徳目の解説」・「訓言」・「例話」の三部に分つた。

一、「訓話要綱」に於ては特殊的な例話を一般化して、之を各自の生活に適應せしめる様訓話要領を示したものであるから、之が取扱に於ては單に所述の事項のみにとどまらず、土地の情況に應じた生活事實並に時事問題等を引用して生徒の理會を容易にし、且つ日常生活に適切ならしめる様努力すべきである。

一、「教授上の注意」に於ては教授上特に心がくべき主要事項のみを擧げるにとどめた。故に教授者は土地の情況・學級の事情等を顧慮して、教授の實際を生活に適應せしめる様心がけねばならぬ。

一、「例話に含まれたる副徳目」に於ては、其の例話のもつ中心徳目に關聯する諸徳目の中、特に主要なるものを擧げたのである。故に、教授者は例話並に訓話の中に於て之等の諸點に留意し、生徒をして自ら之等の徳目の關係を理會せしめる様努めなければならぬ。

一、「生徒用書解説」は例話・訓話の素材及び卷末に掲げた格言及び道歌の解説をなし、實際教授に直接参考となる様にした。

一、「参考資料」に於ては、特に深き研究を志す者のため、又は反覆して指導せんとする場合に参考となる資料を掲げた。教授者は隨時、之を謄寫刷等にして配布し、生徒の自由研究に資するも興味ある方法であらう。

一、教材取扱の順序は大體編纂順に依るを可とするも、特に教材に關係深き生活事實に遭遇した場合は、適宜その順序を變更するも差支ない。然し、何れの場合に於ても教材の連絡には特に注意を拂ひ、各教材を機械的に分立せしめる様心がくべきである。

一、その他、兒童用書「はしがき」に於て述べたる注意事項を參照して、本修身書の效果を一層大ならしめる様努力すべきである。

一千九百三十三年十二月

布　　畦　教　育　會

修身書参考 中等科用 卷一 目次

第一課 新聞賣の少年 (孝行) 一

訓話要綱 一
二、孝 行

一、孝行についての反省

教授上の注意

生徒用書解説

参考資料

徳目の解説

孝道の实行

孝は理よりも情

親に安心させる道

親を敬する道

父母に従順なること

職業に勤み家

の繁榮を圖ること

父母を諫める態度

孝の意義

訓 話

言

眞田信幸の孝義

龜田窮樂の孝順

韓伯瑜

第二課 禮儀作法

訓話要綱

目 次

二

一、禮儀作法

二、禮儀作法についての注意

三、禮儀作法と品性

教授上の注意

一九

生徒用書解説

一〇

参考資料

一一

徳目の解説

一二

容儀作法の修練 作法の形式と精神 乃木大將と少青年の容儀 言語の修練

禮儀

三四

訓 話

三四

例 話

三五

中江藤樹 蔡伯玉 乃木將軍の少年時代

第三課 美しい心 (誠の心)

三七

訓話要綱

三七

一、誠の心

二、善行は至誠から出たものでなくてはならぬ

三、誠の心と修養

教授上の注意

三九

武四

生徒用書解説

四〇

参考資料

四〇

徳目の解説

四〇

誠の心 惡行の本

誠は徳の本 心を誠にする工夫 まこと

虚偽とまこと

誠

四六

訓例

四七

言

四六

見栄より心 出世の秘訣

乃木大將 誠の心

第四課 立派な競走 (競走)

訓話要綱

五〇 五一

一、競争心の必要

二、立派な競争

教授上の注意

五一

生徒用書解説

五三

参考資料

五四

徳目の解説

五四

競争と進歩 競争が進歩の母たる理由

單獨競争と團體競争 實社會に於ける競争の慘劇 競争と惡事の

進歩 競争との手段

競争の理想 制限競争 競争の規則を確保する社會意志 競争と人類の理想

目 次

四

訓 話

六〇

例

六一

日本橋上晉の二青年 爭ふのは弓馬の道 越後武士の名は汚さぬ 河畔の血闘

第五課 粗末な長靴 (勇氣)

六五

訓話要綱

六五

一、勇 氣

六八

二、勇氣の必要

六九

三、誘惑と勇氣

六九

四、勇氣は實行の動力である

六九

教授上の注意

六九

生徒用書解説

六九

参考資料

六九

徳目の解説

六九

眞の勇氣 勇氣と思慮 似而非なる勇氣 勇氣の養成 沈勇

七三

訓 話

七三

例 話

七四

僧日蓮 東郷大將の母 大岡越前守忠相 高峰博士とタカヂアスターゼ

山中鹿之助 山室機惠子夫人

山室機恵子夫人

第六課 加賀の千代 (勉強) 八一

訓話要綱 八二

一、勉強の方法

二、自學自習

三、豫習と復習

教授上の注意 八三

生徒用書解説 八四

参考資料 八五

徳目の解説 八六

自修 修養の時期 學校に於ける修養 知識の修得

訓例 話 八七

言葉 八八

新井白石の獨學自習 フランクリンの自學自修 萤雪の功 海外に學んだ先輩の努力

第七課 二朱金 (正直) 一〇三

訓話要綱 一〇四

一、正直は安全の道

目 次

六

二、正直は人の本性

三、不正直の原因

四、正直には勇氣が必要

五、不正直の害

教授上の注意

生徒用書解説

一〇六

参考資料

一〇七

徳目の解説

一〇八

正直の意義 真心から出た虚言 正直の修養 正直の道

訓 言

一三一

例 話

一四二

桂川家の老僕 山川重郎左衛門 誠の力 商賣上手の國民

第八課 父の看病 (親切)

一八一

訓話要綱

一八二

一、同情の心

二、世は相持

三、親切

四、親切は真心から

教授上の注意.....一一〇

生徒用書解説.....一一一

参考資料.....一一二

徳目の解説.....一一三

親切と世の中 親切の眞義 親切と権利義務 親切の結果と工夫 世には同情のある人が少くない 親

切は道德上の義務 親切を盡くすには必ずしも富を必要としない 親切は真心から出ねばならぬ 親切は正

しくしなければならぬ

訓 評 話.....一二六
例 評 話.....一二七

知盛の愛憐 南洲の看病 ワシントンの歩哨 日種觀明師の免囚保護

第九課 タイヤの發明.....(發明)

訓 評 話.....一二九

一、改良發明と注意

二、吾等の生活と發明

三、發明と不撓不屈の精神

教授上の注意.....一一一

目 次

八

生徒用書解説

一三二

参考資料

一三三

徳目の解説

一三三

一意專心 進歩と創造 創造とは何ぞ 全心の集中 模擬と創造 創造の必要 模擬と發明 發明
の便益

一三三

訓 詞
例 話

一三九

文化の母体(グーテンベルヒ) ミシン物語(シンガー) 醫術への感謝(野口英世) 米國學者によつて選ばれた新時代の驚異九つ 日本人によつてなされたる世界的研究 發明と收入 發明と價值

第十一課 國 の 實 (友 愛)

訓 詞 要 綱

一六〇

一、友愛は自然の情

二、兄弟姉妹の互助

三、友愛は孝行

四、利己心と我儘

五、長幼の序

六、長じて後の友愛

生徒用書解説

一六三

一六四

一六五

一六六

一六七

一六八

一六九

一七〇

教授上の注意 一六三

生徒用書解説 一六四

参考資料 一六五

徳目の解説 一六五

兄弟喧嘩 長幼の序を階級的に考へる 家庭生活の本領 兄弟姉妹の麗はしき和樂はやがて孝道にも協ふ

同胞の本務 義兄弟の間 謙讓の心持 兄弟と業績 人と交る本 友愛の道 不和の原因 共同責

任 境遇の差別と一體の友愛 兄弟の妻に対する友愛 兄弟の道

訓 言 一七三

例 話 一七四

トルストイと長兄の死 和氣清磨と姉の廣蟲 伊藤仁齋の子 吉田松陰の至情 兄弟死を争ふ 駅の貞

平の友愛 新羅三郎義光 ミシェール兄弟 賴氏兄弟の友愛

目次 (終)

目

次

九

Copyright By
HAWAII KYOIKUKAI 1933
HONOLULU, T. H.

版
有
權

千九百三十三年十二月廿五日發行

編
纂
發
行
者

法社團
人布哇
教育會

印
刷
製
本
者
合資
會
社
內
外
出
版
協
會

MADE IN JAPAN